

保健だより

平成 29 年 5 月号 (第 395 号)



発行

那覇市こどもみらい課

☎ 098-861-6903

5 月が始まりました！多くの子どもたちは新しい環境に慣れ、少しずつ保育所生活を楽しめるようになってきました。一方で、体や心に疲れが出て、けがをしたり、体調を崩したりしやすい時期でもあります。さらに、連休が増えて生活が乱れがちになってしまうので、規則正しい生活をして、元気いっぱい過ごせるようにしましょう！

今月のテーマは <予防接種> です。

予防接種について

予防接種は自然に感染すると重症化しやすい病気に対して作られています。病気にかかる前に免疫をつけたり、感染を防いだり、かかってしまっても軽くてすむようにするものです。

「任意接種」は接種してもしなくてもよいのではないかと思われがちですが、重症化しないためにも任意接種も受けておくことが望ましいでしょう。

小学校入学までに接種を済ませたいワクチン

< ■ : 定期接種 □ : 任意接種 >

- Hib (ヒブ)
- 小児用肺炎球菌
- B 型肝炎 (H28.10 から定期接種になりました)
- BCG (結核)
- 四種混合 (ジフテリア・百日咳・破傷風・ポリオ)
- MR (麻疹(はしか)・風疹(三日はしか)混合)
- 日本脳炎
- 水痘 (みずぼうそう)

- 流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)
- ロタウイルス

絶対に受けてほしい「MRワクチン」

1 歳になったらとにかく受けてほしいのは MR ワクチンの 1 期。

昨年 (平成 28 年) は、海外から帰国した麻疹(ましん) (以下、「はしか」という。) 患者による集団感染もあり、年間を通じて 1 5 9 例の発生が報告されていましたが、**今年 (平成 29 年) は 4 月 1 9 日時点ですでに 1 3 9 人と、昨年を上回る勢いで発生しており、注意が必要です。**

はしかは、麻疹ウイルスによって引き起こされる感染症です。感染力がとても強く、**1 人の患者から、免疫のない 9 ~ 16 人が感染する**といわれるほど強力です。

免疫力の無い人が感染するとほぼ 100% 発症し、重い合併症を発症して命に関わることもあります。 特別な治療法はなく、回復までに時間がかかります。

はしかにかかった際の重い合併症として、**亜急性硬化性全脳炎 (SSPE)** があります。SSPE は、はしかにかかってから約 10 年前後の潜伏期間をおいて発病します。**最初は意欲がなくなる、性格が変化する、成績が落ちるなどの症状で始まり、しだいに知能や意識レベルが低下し、最後は昏睡状態になって数年の経過で亡くなる**というたいへん怖い病気です。

*** 保育所でひとたびはしかが発生すると、ワクチンを受けられない 0 歳児が感染するリスクが高まります ***

予防

はしかの感染予防はただ一つ、MR ワクチン接種のみです。

MR ワクチンは計 2 回の接種が必要です。

1 期 : 1 歳児

2 期 : 小学校入学前年度 1 年間

2 回接種することで、十分な免疫が得られます。対象の年齢になったら、早めに接種しましょう！！

予防接種を受ける前に、受けた後は…

《受ける前に》

予防接種は健康な状態のときに受けるのが原則です。日ごろから保護者の方はお子さんの体質、体調など健康状態によく気を配ってください。当日も朝から様子を観察し、発熱の有無を確認しましょう。

《受けた後は》

重篤な副反応は、予防接種後 30 分以内に生じることが多いため、接種後 30 分間は医療機関で様子を見るか、または医師とすぐに連絡を取れるようにしておきましょう。その日は、激しい運動を避け、できるだけ家で安静に過ごしましょう。高い熱が出たり、ひきつけを起こしたり異常が認められれば、すぐに医師の診察を受けましょう。